

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金（実施する場合） 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
証券会社に口座をお持ちの場合	
証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）	
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）
ご注意	支払明細発行については、右の[特別口座の場合]の郵便物送付先・電話 お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を 開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。（http://www.carlithd.co.jp） ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

株主優待制度のご案内

このたび当社は、2018年をもちまして創業100周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。これを機に当社は株主還元のあるり方を見直し、中長期に亘り当社株式を保有していただくことを目的に、株主優待制度を変更することといたします。

【変更の内容】 ●変更前

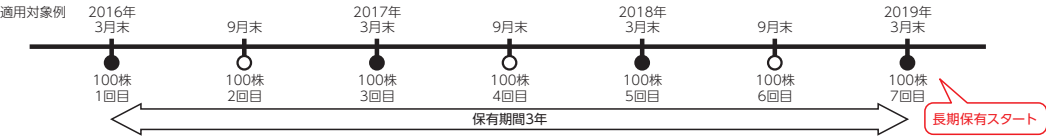
所有株式数	内容
100株～499株	UCギフトカード 1,500円分
500株～999株	UCギフトカード 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 2,500円分

●変更後（2019年3月期より）

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株～499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500株～999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

ご留意点

①保有期間については、3月末日および9月末日を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を連続して保有している回数にて判定いたします。
保有期間3年以上とは…同一の株主番号で連続7回以上、100株以上を保有



②所有株式数については、優待発送の基準日時点の所有株式数のみで判定いたします。



絵：福井正之



カーリットホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL：03-6893-7070 FAX：03-6893-7050

<http://www.carlithd.co.jp>

カーリットHD

検索



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

中間株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



— 無限の可能性をカタチに —



カーリットホールディングス株式会社

証券コード 4275

トップメッセージ

TOP MESSAGE



中期経営計画『礎100』最終年度、 グループの総力を挙げ、 次の100年企業となるための 礎づくりを推進してまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大阪北部地震以降、平成30年7月豪雨、台風21号、平成30年北海道胆振東部地震など各地で大きな災害が発生しております。

被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの平成30年度上半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）が終了いたしましたので、決算の概要および今後の事業展開につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 廣橋 賢一

平成30年度上半期の実績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や個人消費が引き続き堅調に推移しましたが、相次ぐ自然災害の発生や米中の保護主義的な通商問題など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当期は、創業100周年を最終年度とする4カ年の

中期経営計画「礎100」の最終年度となります。次の100年の新たな事業基盤の確立を目指し、成長基盤強化、収益基盤強化、グループ経営基盤強化の3つの基盤強化を掲げ、中期経営計画達成に向けて諸施策に取り組んでおります。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計

期間の連結売上高は、265億2千5百万円（前年同期比 15億6千1百万円増、同6.3%増）となりました。

また、連結営業利益は10億2千9百万円（前年同期比 3億5千5百万円増、同52.7%増）、連結経常

利益は11億6千1百万円（前年同期比 3億8千4百万円増、同49.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億2千6百万円（前年同期比 2億7百万円増、同40.1%増）となりました。

平成30年度通期の見通しと今後の取り組み

当事業年度は、4カ年の中期経営計画「礎100」の最終年度となります。当事業年度の連結業績予想としては、売上高540億円、営業利益24億円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を見込んでおり、計画達成に向けて順調なスタートが切れたと考えております。

平成30年3月に1年半に亘る更新工事が完了した自家水力発電所である「広桃発電所」は、今年度より稼動を再開しており、上半期の業績に大きく貢献いたしました。また、半導体用のシリコンウェーハや主にLiB向けの受託試験分野における需要増加が業績に寄与しております。

社会貢献活動

創業100周年を機に、社会貢献活動の一環として今年3月に「給付型奨学金制度」を導入いたしました。これは、経済的な理由により就学に困難のある

学生が安心して学べるよう、当社から学生に対して学資を給付するものです。募集要項は下記のとおりです。また、当社Webページも併せてご覧下さい。

対象者▶日本の4年生大学（学部2年以上）又は大学院に在籍する日本国籍の学生

給付金額▶月額30,000円 **給付期間**▶最長2年間 **人数**▶年度毎に最大5名

奨学生応募制度ページ▶<http://www.carlithd.co.jp/csr/scholarships.html>



カーリットグループは新規事業の創出、既存事業の伸長に向けて、創業者浅野総一郎の「社会に必要なモノを起こす」精神を受け継ぎ、「無限の可能性をカタチに」出来るよう、全社一丸となって挑戦

を続けてまいります。

株主・投資家の皆さまには引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

特集 ● 創業100周年のあゆみ

1918年のカーリット爆薬の技術導入以来、塩水の電気分解技術をもとに様々な製品を生み出し、日本の産業を長きに亘って支えました。カーリットグループは創業の精神を引き継ぎ、今後も社会に必要なものを提供し続けてまいります。

1918年

創業者浅野総一郎が
浅野同族会社に製薬部を新設
カーリット爆薬の特許取得



浅野 総一郎

1919年

保土ヶ谷工場を
現在の横浜市保土ヶ谷区に建設
カーリット爆薬の製造開始

1934年

浅野カーリット(株)を創立
現在の群馬県渋川市に群馬工場を建設

1946年

発炎筒(信号炎管)の販売を開始



初期モデル

現行モデル

1949年

除草剤「デゾレート」の販売を開始



除草剤「デゾレート」

1990年

導電性高分子の世界初の実用化に成功
電気化学会技術賞・棚橋賞を受賞

1991年

ジェーシービバレッジ(株)を設立
ボトリング事業を開始



飲料ライン

1994年

半導体用のシリコン材料の製造・販売を行う
(株)シリコンテクノロジーを設立

1995年

赤城工場を現在の群馬県渋川市に建設
火薬類の製造拠点を保土ヶ谷工場から移転

2010年

ジェーシービバレッジ(株)を改め
ジェーシーボトリング(株)を設立
佳里多上海貿易有限公司を設立

2011年

Carlit Singapore Pte. Ltd. を設立

2012年

工業用塗料、塗装設備の販売を行う
富士商事(株)、耐火耐熱金物の
製造・販売を行う並田機工(株)へ
資本参加

2013年

日本カーリット(株)の株式移転により
純粋持株会社である
カーリットホールディングス(株)を設立
上下水・排水処理施設等の設計を行う
(株)総合設計へ資本参加
群馬工場に電池試験所を設立



電池試験所

2014年

自動車及び建設機器向けスプリングの製造・
販売を行う東洋発條工業(株)へ資本参加

2016年

合成樹脂の販売を行う三協実業(株)へ資本参加

2018年

ゲルマニウム精製事業を開始
広桃発電所更新工事完了、4月より稼働を再開

2018年
創業100周年
更に次の
100年へ

TOPICS

2018年5月、創業100周年を記念し、日本カーリット創業の地である
神奈川県横浜市の「たちばなの丘公園」にシダレザクラ1本とヨコハマヒザクラ
3本を植樹致しました。「たちばなの丘公園」は、日本カーリット保土ヶ谷工場と
して「カーリット爆薬」や発炎筒の製造を行っていました。1995年に生産拠
点を赤城工場に移転してからは、横浜市に跡地の寄付等を行い、緑地保全と
して活用されています。

現在でも製造現場が当時のまま残されている当公園は市民の憩いの場として
だけでなく、雨水調整池として活用され地域住民に寄り添い続けています。

100周年記念Webページのご案内

<http://www.carlithd.co.jp/corporate/anniversary100/message.html>



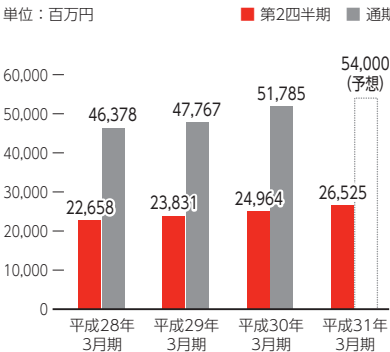
1918年
創業

連結業績ハイライト

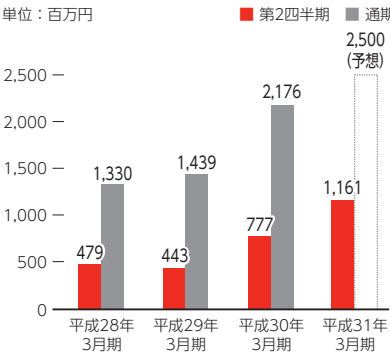
FINANCIAL HIGHLIGHTS

- ▶売上高は、セラミック材料や耐火・耐熱金物が好調だったことにより前年同期比6.3%増
- ▶経常利益は、電池試験やシリコンウェーハが好調だったことにより前年同期比49.5%増
- ▶セグメント別には、化学品事業、ボトリング事業、産業用部材事業、全ての事業分野において増販

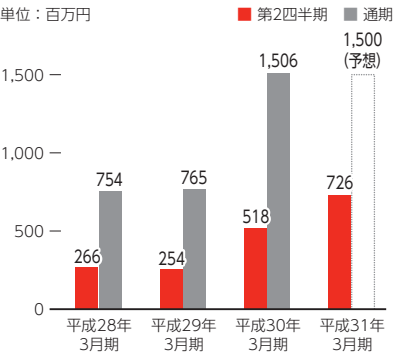
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

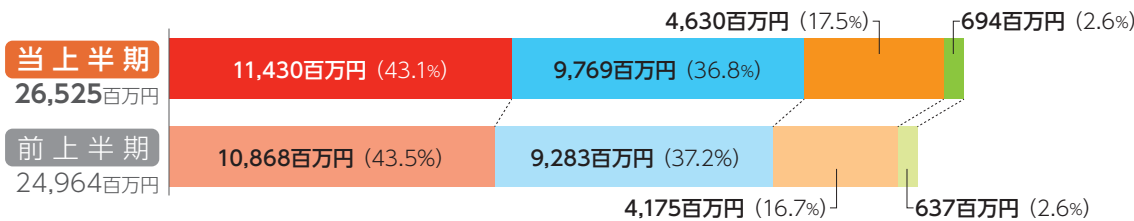


セグメント別売上高

当上半期の売上高 26,525 百万円 (前上半期：24,964百万円)

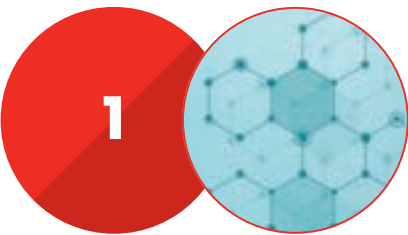
売上高構成比

- 化学品事業部門 43.1% (同 43.5%)
- ボトリング事業部門 36.8% (同 37.2%)
- 産業用部材事業部門 17.5% (同 16.7%)
- その他(調整額消去後) 2.6% (同 2.6%)



セグメント別の概況

SEGMENT INFORMATION BY BUSINESS CATEGORY



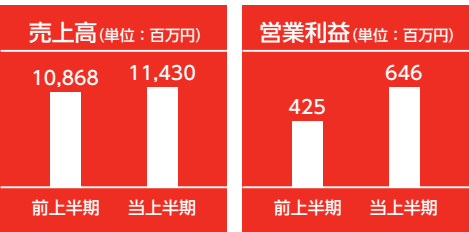
CHEMICALS
化学品事業部門

主な事業内容

人々の安全を守る自動車用緊急保安炎筒、リチウムイオン二次電池などの受託評価試験、ロケット推進薬に使用される過塩素酸アンモニウム、パソコンなどに使用される機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、研削砥石など、確かな技術により、人々の暮らしを支えています。



産業用爆薬



売上高

11,430 百万円

営業利益

646 百万円

化学分野においては、産業用爆薬は土木案件の増加により増販となりました。自動車用緊急保安炎筒は、新車装着向け、車検交換向けとも減販となりました。高速道路用信号炎管、鉄道用信号炎管とも増販となりました。煙火材料は減販となりました。これらにより、分野全体としては増販となりました。

受託評価分野においては、危険性評価試験は微増、電池試験は大幅な増販となり、分野全体では大幅な増販となりました。

化成品分野においては、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムは微増となりましたが、ロケットの固体推進薬原料である過塩素酸アンモニウムは打ち上げスケジュールの影響により減販となりました。また、除草剤、過塩素酸も減販となり、分野全体としては減販となりました。

電子材料分野においては、アルミ電解コンデンサ向け材料、イオン導電材料は減販となったものの、電気二重層キャパシタ用電解液は大幅な増販に、機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、チオフェン系材料は増販となり、分野全体では増販となりました。

セラミック材料分野は、国内主要砥石メーカーの堅調な生産により、大幅な増販となりました。その他では、販売商社である佳里多上海と三協実業が増販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は114億3千万円（前年同期比 5億6千2百万円増、同5.2%増）、営業利益は6億4千6百万円（前年同期比 2億2千万円増、同51.9%増）となりました。

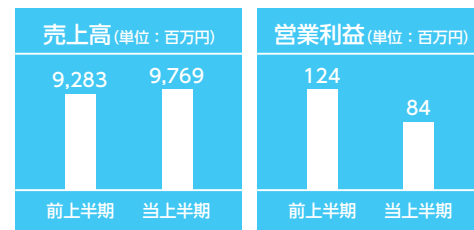


BOTTLING

ボトリング事業部門

主な事業内容

人々の暮らしの必需品となったペットボトル飲料や缶飲料の受託製造を行っております。ペットボトル飲料の生産では容器生産、調合、充填、包装、検査まで一貫した生産システムを充実させ、主として茶製品を安定的かつ効率的に生産・供給しております。



主力の茶系飲料をはじめ、缶製品、炭酸飲料などの委託品がいずれも増販となり、当事業部門全体の売上高は97億6千9百万円（前年同期比 4億8千5百万円増、同5.2%増）、営業利益は8千4百万円（前年同期比 4千万円減、同32.6%減）となりました。

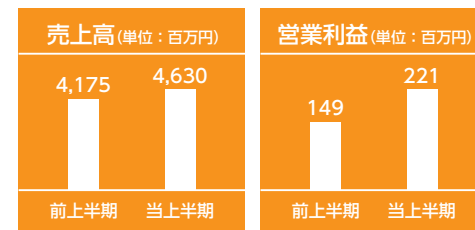


MATERIALS

産業用部材事業部門

主な事業内容

パソコンなどに使われる半導体用シリコンウェーハ、都市ごみ焼却設備に使用される耐火・耐熱金物、自動車・建設機械向けばね・座金などを製造・販売しており、産業発展に貢献しています。



シリコンウェーハは、半導体市場の好況が継続し増販となりました。

耐火・耐熱金物は、都市ごみ焼却場等の新設・補修案件、海外向け、スタッド事業とも増販となりました。ばね・座金製品は拡販努力と市場環境の好調が継続し増販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は46億3千万円（前年同期比 4億5千5百万円増、同10.9%増）、営業利益は2億2千1百万円（前年同期比 7千1百万円増、同48.1%増）となりました。

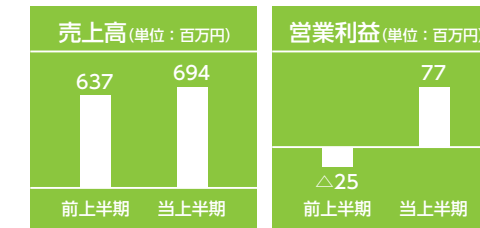


OTHERS

その他・消去

主な事業内容

工業用塗料・塗装工事請負、上下水・建築物等の設計・監理、不動産賃貸など、幅広い事業活動をしております。



身近なところにカーリット



～半導体～

パソコンや携帯電話、テレビ、エアコン、自動車などは、私たちの日常生活で目にしないことはありません。こうした電気製品のほとんどは内部にIC（集積回路）が使用されており、そのICの基盤として使われているのがカーリットグループの「半導体用シリコンウェーハ」です。

半導体は非常に緻密な精度が要求され、それは基盤であるシリコンウェーハにも当てはまります。ICに使われるシリコンは純度99.99999999%という非常に高い純度であり、9が11個並ぶので俗に「イレブンナイン」とも言われます。

シリコンウェーハは、写真の「インゴット」から薄くスライスし、洗浄と表面研磨を繰り返して製品になります。皆さまの目には見えないところで、カーリットグループは社会を支えています。



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当第2四半期 平成30年9月30日現在	前 期 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	23,094	22,942
固定資産	31,941	31,265
有形固定資産	21,338	21,453
無形固定資産	214	337
投資その他の資産	10,388	9,474
資産合計	55,035	54,208
負債の部		
流動負債	17,324	18,032
固定負債	10,909	10,487
負債合計	28,234	28,519
純資産の部		
株主資本	22,344	21,908
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	19,261	18,824
自己株式	△ 208	△ 208
その他の包括利益累計額	4,456	3,780
純資産合計	26,801	25,688
負債純資産合計	55,035	54,208

連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期累計 平成30年4月 1 日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期累計 平成29年4月 1 日から 平成29年9月30日まで
売上高	26,525	24,964
売上原価	22,247	21,106
売上総利益	4,277	3,858
販売費及び一般管理費	3,248	3,183
営業利益	1,029	674
営業外収益	196	155
営業外費用	64	52
経常利益	1,161	777
特別利益	0	5
特別損失	37	11
税金等調整前四半期純利益	1,123	770
法人税等	397	252
四半期純利益	726	518
親会社株主に帰属する四半期純利益	726	518

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期累計 平成30年4月 1 日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期累計 平成29年4月 1 日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,356	1,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,458	△ 1,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 700	11
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197	△ 205
現金及び現金同等物の期首残高	4,222	4,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,420	3,925

会社概要

(平成30年9月30日現在)

CORPORATE PROFILE

会社概要

商 号	カーリットホールディングス株式会社 (英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設 立	平成25年10月1日
資本金	2,099百万円
従業員	1,093名 (連結)

主なグループ会社

● 国内

日本カーリット株式会社	化薬・化学品・電子材料品・研削材・煙火材料等の製造・販売および危険性評価試験ならびに電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウエーハの製造・販売
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
ジェーシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
並田機工株式会社	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種スプリングの製造・販売
株式会社西山フィルター	工業用繊維製品の加工・販売
アジア技研株式会社	スタッフおよび溶接機械の製造・販売
三協実業株式会社	合成樹脂原料の販売
株式会社エスディーネットワーク	建築の設計および監理ならびにコンサルタント業務

● 海外

佳里多（上海）貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売
Carlit Singapore Pte.Ltd.	化学品および電子材料等の仕入・販売
NAMITA VIETNAM CO.,LTD.	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売

役 員

取締役		監査役	
代表取締役会長	出口 和男	常勤監査役(社外)※	森田 庸夫
代表取締役社長	廣橋 賢一	監査役(社外)※	安達 義二郎
取締役兼常務執行役員	金子 洋文	監査役	六本木 英次
取締役兼常務執行役員	森下 貴	監査役	青木 章哲
取締役兼常務執行役員	山本 秀雄	執行役員	
取締役兼執行役員	福田 実	執行役員	岡本 英夫
取締役兼執行役員	柴田 良明	執行役員	坂田 貞二
取締役(社外)※	大村 扶美枝		
取締役(社外)※	山本 和夫		
取締役(社外)※	新保 誠一		

※を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況

(平成30年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,050,000株
単元株式数	100株
株主数	26,539名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	出資比率 (%)
みずほ信託銀行(株)退職給付信託丸紅口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	913	3.8
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	708	3.0
明治安田生命保険(相)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	678	2.8
(株)大阪ソーダ	559	2.3
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	548	2.3
芙蓉総合リース(株)	522	2.2

所有者別株式分布状況

